

## 給水取出し工事写真チェックシート

工事写真は取出し工事完了後5日以内に工事施工書と一緒に提出

各写真の説明(埋戻しは、埋戻した層ごとの厚さと深さを表示した図)を記入

種類	内容
<input type="checkbox"/> 表紙	・受付番号、工事場所、工期、工事施工者名(押印不要)を記入
着工前の工事箇所の全景 <input type="checkbox"/> 起点方向 <input type="checkbox"/> 終点方向	・看板、各種許可書、保安施設を写す。
<input type="checkbox"/> 各種許可書	・道路使用許可書・道路占用許可書・通行制限(片側通行止)等を撮る。 ※許可証等の種類が分かる大きさと正面から撮る。
<input type="checkbox"/> 交通誘導員	
<input type="checkbox"/> 残土処理	・トラックに積み込んでいる状況を撮る。 ・現地処理の時は、その状況が分かるように撮る。
<b>分水栓取り付け及び取出し</b> <input type="checkbox"/> 配水管の埋設深度 <input type="checkbox"/> トルクレンチを使用してサドル分水栓の取り付け作業をしている状況 <input type="checkbox"/> サドル分水栓取り付け状態  <input type="checkbox"/> 穿孔機を分水栓に取付た状態 <input type="checkbox"/> 乙止水栓から捨水  <input type="checkbox"/> 穿孔片  (配水管がDIP等の場合) <input type="checkbox"/> 密着コア挿入前 <input type="checkbox"/> 密着コア挿入状況 <input type="checkbox"/> 密着コア挿入後  (分水止めがある場合) <input type="checkbox"/> 止める前 <input type="checkbox"/> 止めた後	・配水管上に垂直にスタッフ・小黒板を入れて撮る。 (SKXチーズを使用する場合や分水止めをする場合も同様) ・トルクレンチを使用していることが分かるように撮る。 ※サドル分水栓をジョイント等より有効長で30cm以上離して取付ける場合(同一小穴による取出しも含む)はスタッフ等で離れが分かるように撮る。 ・穿孔時及び乙止水栓からの捨水状況を撮る。 ・穿孔後、穿孔機ホルダーから穿孔片を取り出して、小黒板を入れて撮る。 ・配水管がDIP・CIP・SGPの場合は、密着コア挿入状況と密着コア挿入前後の挿入機を撮る。 ・分水止めがある場合は止める前、止めた後を撮る。
<input type="checkbox"/> 布設した給水管の埋設深度	・布設した給水管については、開削、推進、道路横断、道路縦断全ての場合において埋設深度の分かるスタッフ等を使った写真を撮る。
(給水管同士や他の地下埋設物との離隔が近い場合) <input type="checkbox"/> 離隔が分かる写真	・スタッフ・小黒板を入れて撮る。
<input type="checkbox"/> 乙止水栓設置状況	・乙止水栓にフレキシブル継手を接続した状態で撮る。
<input type="checkbox"/> 使用した金属製の継手、EFスクリュージョイントの設置状況(全部)	・道路縦断で給水管を布設した場合は全て撮る。

種類	内容
<p><b>防食フィルム巻き立て</b></p> <p><input type="checkbox"/> サドル分水栓と配水管全体を防食フィルムで巻いた状態</p> <p><input type="checkbox"/> 使用したSKXチーズ・SKXエルボ・金属製の継手・EFスクリュージョイントを防食フィルムで巻いた状態</p> <p>(分水止めがある場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 分水止めをしたサドル分水栓を防食フィルムで巻いた状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付属の紐で巻き密着させる。</li> <li>・小黒板を入れる。</li> </ul>
<p><b>埋戻し</b></p> <p><input type="checkbox"/> 洗砂埋戻し(転圧状況)</p> <p><input type="checkbox"/> 洗砂埋戻し(転圧後)</p> <p><input type="checkbox"/> 埋設シート設置</p> <p><input type="checkbox"/> 砕石2層目以降埋戻し(転圧状況)</p> <p><input type="checkbox"/> 砕石埋戻し2層目以降(転圧後)</p> <p><input type="checkbox"/> 粒調砕石埋戻し(転圧状況)</p> <p><input type="checkbox"/> 粒調砕石埋戻し(転圧後)</p> <p>(掘削深度が1.5mを超える場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 土留め設置</p> <p>(道路を縦横断方向に開削する場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しの写真</p> <p>(道路を横断方向に開削する場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しの写真</p> <p>(複数箇所を掘削した場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しの写真</p> <p>(分水止めをした場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しの写真</p> <p><input type="checkbox"/> 乳剤散布後</p> <p><input type="checkbox"/> 仮復旧完成写真</p> <p><input type="checkbox"/> 路側線・センターライン等を復旧した後の写真</p> <p><input type="checkbox"/> 復旧箇所の縦・横にスタッフ又は帯広テープを当てた写真</p> <p><input type="checkbox"/> 道路に指定工事業者番号を青色でペイントした後の写真</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管の深さが0.9mより深い場合は管上0.3m、管の深さが0.9～0.75mの場合は深さ0.6m、管の深さが0.75mより浅い場合は管上0.15mまで埋戻す。</li> <li>・タコ・プレート等で転圧している状況を小黒板を入れて撮る。</li> <li>・転圧後スタッフ・小黒板を入れて撮る。</li> <li>・管上0.3m以上0.5m未満の範囲で深い層の上に設置し、スタッフ・小黒板を入れて撮る。</li> <li>・厚さ0.2m以下ごとに転圧状況及び転圧後を撮る。</li> <li>・タンパ・ランマ等で転圧している状況を小黒板を入れて撮る。</li> <li>・転圧後スタッフ・小黒板を入れて撮る。</li> <li>・タンパ・ランマ等で転圧している状況を小黒板を入れて撮る。</li> <li>・転圧後スタッフ・小黒板を入れて撮る。</li> <li>・民地内でも同様に撮る。</li> <li>・開削延長距離が40m以上の時は40m毎に、40m以下の時は2箇所以上適正な位置で取出し箇所と同様に撮る。(例:0～40mは2箇所、41～80mは3箇所、81～120mは4箇所)</li> <li>・配水管と布設する給水管の深さが違う場合は、サドル付分水栓を設置した場所と深さの違う位置の2箇所撮る。</li> <li>・全ての小穴の埋戻し状況を取り出し箇所と同様に撮る。</li> <li>・取出し箇所と同様に撮る。</li> <li>・埋設シートの敷き忘れに注意する。</li> <li>・乳剤を散布後の状況を小黒板を入れて撮る。</li> <li>・加熱アスファルトで埋戻し・転圧後、既存道路との境目に乳剤で目地をし、その上を砂で養生する。</li> <li>・小黒板を入れて撮る。</li> <li>※砂利道の場合には、復旧箇所の縦、横にスタッフ又は帯広テープを当て、長さが確認できるようにし、小黒板を入れて撮る。</li> </ul>
<p><input type="checkbox"/> セーフティマーク又は明示杭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「セーフティマーク」は道路側溝天端(民地側)に打ち込み小黒板を入れて撮る。(道路側溝がなく地先ブロックがある場所は地先ブロックにセーフティマークを打ち込む)</li> <li>・セーフティマークが使用できない場合は官民境界の民地側に「明示杭」を打ち込み小黒板を入れて撮る。</li> </ul>
<p><input type="checkbox"/> 指定工事業者シール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーターボックスの蓋の裏側に指定工事業者シールを貼って撮る。</li> </ul>